

研究テーマ：高速・広域ネットワーク上でのマルチキャスト伝送を応用したプラント設備の コラボレーション遠隔診断に関する研究開発（1/2） （プロジェクト番号JGN-P112553）

研究機関：株式会社高田工業所

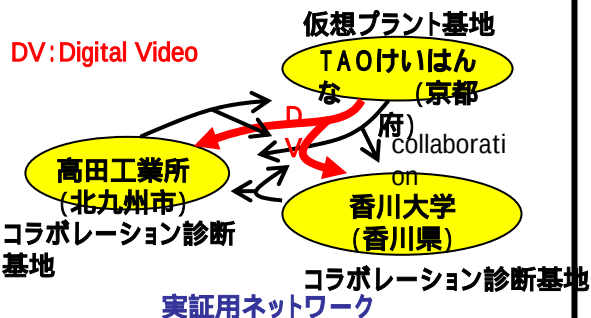
九州大学情報基盤センター

研究概要：

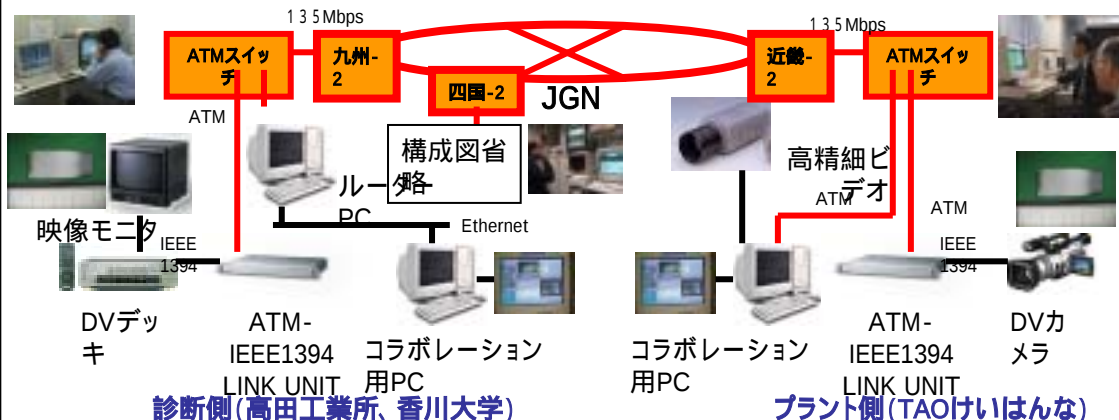
制度名	平成11年度「ギガビットネットワーク利活用研究開発制度（2次補正予算）」
研究期間	平成12年4月～平成13年3月31日
提案者	株式会社高田工業所
共同提案者	九州大学
技術支援者	香川大学、日本テレコム(株)、新日化環境エンジニアリング(株)、 (財)九州ヒューマンメディア創造センター、 通信・放送機構北九州情報通信研究開発支援センター 通信・放送機構けいはんな情報通信研究開発支援センター
研究課題	1. 実用的なマルチキャスト経路制御に関する研究 2. 超高速信頼性マルチキャスト通信に関する研究 3. 複数メディアによる高精細画像の通信アプリケーションの開発 4. 高精細画像による分散型コラボレーション診断の実証

研究の目的：

プラント設備と遠隔地に分散した複数の診断専門家を高速ネットワークで結び、広域における複数の専門家による迅速で正確な設備診断の実現につながる遠隔地におけるコラボレーション診断の可能性を実証すること。



実験機器構成：



**研究テーマ：高速・広域ネットワーク上でのマルチキャスト伝送を応用したプラント設備の
コラボレーション遠隔診断に関する研究開発（2/2）**
（プロジェクト番号JGN-P112553）

研究機関：株式会社高田工業所

九州大学情報基盤センター

研究開発状況(主なもの)：

1. コラボレーション遠隔診断を実証するためDVデータを特定のデータリンクに依存せず通信できるようATMセルをIP上で通信するATM over IP技術を開発
2. ATM over IP技術を用い、3地点での腐食損傷事例のコラボレーション遠隔診断実
験ネットワークを構築し遠隔診断が可能であることを実証

今後の予定：

1. 高精細ビデオによる静止画像のファイル転送の安定化
2. 実プラントへの適用方法の検討

将来の展望：

少数の専門家により多くのプラント設備の診断が可能となる。また、専門家を有しない多くの企業が利用可能な設備診断支援センター(仮称)の設立が実現する。

